

# つくば市在宅医療・介護連携推進事業

## 平成30年度 第2回多職種連携のための意見交換会

日時：平成31年1月17日(木)

場所：つくば市役所 201会議室

### 当日の内容

- 講演 「松戸市における地域包括ケア推進に向けた取り組みについて」  
医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 医師 川越 正平 氏
- グループワーク 「市民の方が在宅生活を送ることができる地域を目指すために  
—自分たちができることを考える—」

### 参加者

|           |                 |                |
|-----------|-----------------|----------------|
| 医師：11名    | 精神保健福祉士：1名      | 社会福祉士：5名       |
| 歯科医師：4名   | 管理栄養士：1名        | 医療ソーシャルワーカー：1名 |
| 薬剤師：5名    | 歯科衛生士：2名        | 相談員：2名         |
| 看護師：5名    | 鍼灸師：1名          | 介護福祉士：4名       |
| 保健師：10名   | 鍼灸按摩マッサージ指圧師：4名 | 消防：1名          |
| 理学療法士：12名 | 主任介護支援専門員：7名    | その他：13名        |
| 作業療法士：8名  | 介護支援専門員：19名     |                |
| 言語聴覚士：5名  | 訪問介護員：1名        |                |

合計：122名

## 意見交換会の目的

つくば市の医療と介護の専門職が、つくば市の在宅医療介護連携の推進、そして地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種が情報・課題の共有を行い、必要な具体的な取組について主体的に協議・検討を行っていきます。

## テーマ

# 市民の方が在宅生活を送ることができる地域を目指すために — 多 職 種 の 協 働 —

今回の意見交換会は先進地の地域包括ケア推進の取り組みから、多職種が連携する体制づくりをどのように行ってきたか、現状の課題と今後の取り組みについて理解すると共に、つくば市における地域包括ケア体制の現状を共有し、つくば市の地域の課題に目を向け、自分の職種において多職種において何ができるか、共に課題解決の方策を協議・検討すると共に顔の見える関係を構築することを目的としています。

飯岡医師会長より  
開会のあいさつ

飯岡会長には、グループワークにも参加いただきました！



## <意見交換会の流れ>

- ▶18:30~18:35 開会のあいさつ
- ▶18:35~19:05 講演
- ▶19:05~19:15 質疑応答
- ▶19:15~20:05 グループワーク
- ▶20:15~20:40 グループ発表
- ▶20:40~20:55 総評

## 講演

# 松戸市における地域包括ケア推進に向けた取り組みについて ～多職種や多機関の力を結集することによるまちづくり～

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 医師 川越 正平 氏



松戸市の「あおぞら診療所」川越正平医師より、松戸市がH23年から国のモデル事業を受託して取り組んできた実践と、この1-2年で松戸市が取り組んでいる具体例をご紹介いただきました。講演を通して、川越先生より、つくば市の地域包括ケア推進には、多職種が各々で考え、多職種が統合することの重要性について提示をいただきました。

※内容については、講演資料をご覧ください！

## グループワーク

「市民の方が在宅生活を送ることができる地域を目指すために  
—自分たちができることを考える—」

### 今回の意見交換会の内容

#### ①同職種による話し合い

地域の中で在宅医療介護事業に取り組む中で、自分の職種でしたいこと、他の職種にお願いしたいこと(前向きな要望)を話し合いました！

#### ②多職種による話し合い

同職種で確認した好事例について、他職種と共有。要望を提示！これらを踏まえて、他職種と一緒にしたいこと「明日から」「半年後」「未来にできたら嬉しい」こと、誰がやるのか「医療職」「介護職」「行政(その他)」について、協議、模造紙にまとめ、グループ発表しました！

次ページ以降は、各班の協議内容です！



# 1 G 多職種連携の強化

|                     | 明日から   | 半年後  | 未来にできたら嬉しい                       |
|---------------------|--|--|----------------------------------|
| <b>医療職</b>          | ・歯科の必要性をPRしていく。  |  | ・在宅患者のかかりつけ医制度を作りたい。・SNSの活用。     |
| <b>介護職</b>          | ・ケアマネの質をあげる。<br>・ケアマネ会に入会して勉強をする。<br>・訪問マッサージを通して得た情報をケアマネにフィードバックする。<br>・緊急時、家族がいない入所者のケアマネに連絡が取れない場合や土日の連絡の問題について検討する。 |  | ・医療と介護と行政が顔の見える関係になり、連携を取りやすくする。 |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | ・緊急連絡システムの台数増加。<br>・つくつく見守り隊の強化。<br>・独居の方への訪問を実施。(民生委員)  | ・必要な社会資源を活用する。(ゴミ捨て・買い物等)・つくたくの予約を取りやすくする。 |                                  |

在宅患者のかかりつけ医、  
歯科医師制度を作りたい！

# 2G

## 世界の明日が見える街つくば～医介福ネットワーク～

|             | 明日から  | 半年後  | 未来にできたら嬉しい   |
|-------------|---|--|--|
| 医療職         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、医師、ケアマネ等に情報共有。</li> <li>・痛み、浮腫み、関節拘縮など症状の改善をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種＋市民参加のコミュニティカフェを実施。</li> <li>・つくば市でフェイスシートを作成する。</li> <li>・オレンジカフェを作業療法士で実施したい。また、同職種で情報共有をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師がケアマネに方針を伝えるといい。</li> <li>・入院のケア会議に医師も参加できるといい。</li> </ul>   |
| 介護職         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士、作業療法士の役割を理解し、活用できるようにする。</li> <li>・担当者会議に出席する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人の利用者に関わる職種・事業所の一覧表があれば気軽に連絡ができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを利用したプラットフォームの普及。→情報を関係職種が見たかわかる。</li> </ul>  |
| 行政<br>(その他) |   | <p>1番実現したい未来のこととして、つくば市科学の先端都市として医療電子カルテを医療介護連携としてつくば市モデルとして作れること</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校を利用した街の保健室を作る。(子供食堂、高齢者のカフェ等)</li> <li>・つくば市で医療と介護のカルテを統一して管理する。</li> <li>・資源の開発等を提案していく場、システム化が必要。</li> </ul> |

# 3G

## 各職種への理解とサービス担当者間の情報共有

|                     | 明日から   | 半年後   | 未来にできたら嬉しい  |
|---------------------|--|---|---|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議等への多職種参加。(→医師が来れる場で開催、代理が参加の場合は居宅で実施。)</li> <li>・リハビリの疲れを取る。・血行改善、むくみを取る、疲労回復。</li> </ul> | <p>・退院時における情報交換を綿密に行う。</p> <pre> graph TD     Hospital(病院) &lt;--&gt; Home(在宅)     Hospital &lt;--&gt; CareManager(ケアマネ)     Home &lt;--&gt; CareManager             </pre> |   |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の場で、歯科受診の必要性を伝える。・サービス担当者会議に関係職種の参加。・家族と仲良くなる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問エリアの見える化。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種が直接やりとり可能な関係づくり。</li> </ul>                |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <p>入院中にできたりハビリとか治療行為を居宅に持っていく場合にシームレスにつなげていく必要がある</p>  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば市で情報シートを統一する。→クラウド化(松戸は来年度から実施)</li> </ul> |

# 4 G

## 医療職と介護職、行政の有機的なシステム作り

|                     | 明日から   | 半年後   | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|--|---|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議に呼んでほしい。(歯科医)・介護で得た情報を教えてほしい。</li> <li>・PT、OT、STの違いを明確になるような話し合いをする。</li> <li>・急変した時に多職種に速やかに連絡する。</li> <li>・医療の勉強会の実施。</li> <li>・利用者や介護者に対して、医療職から助言がほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている、悩んでいることをタイムリーに相談、検討できる関係を作る。</li> <li>・認定を受けていない方にリハビリ専門職が関わってほしい。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔医療の実現。(外来診療)</li> <li>・遠隔地におけるリアルタイムな情報の共有。</li> </ul>                             |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカンファレンス・退院時カンファレンスへの出席。</li> <li>・気になることがあったらまず相談する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師と連携しやすい関係を作る。</li> <li>・介護方法についてよりよい方法の勉強会実施。</li> <li>・リアルタイムで医師と情報共有をする。</li> <li>・介護士の口腔ケアの技術を統一する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の医師との顔の見える関係。</li> <li>・介護職全体の会議を実施する。</li> </ul>                                  |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急に関するインタビュー。</li> <li>・介護・医療職のメールリストの作成。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急関係者で集まる。</li> <li>・つくつく見守り隊の改訂版素案完成。</li> <li>・医療・介護の連絡手段を作成。</li> <li>・医療機関、施設との電子ツールを使用した情報共有。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師とケアマネ間の患者についての連絡ツールを作成。</li> <li>・つくば市で統一した電子カルテの作成。</li> <li>・情報のデータ化。</li> </ul> |

最終目標はつくば市の統一した電子カルテ！



# 5G

## 全ての垣根をなくす

専門職の名前を「さん」と呼びあう

|             | 明日から   | 半年後   | 未来にできたら嬉しい  |
|-------------|--|---|---|
| 医療職         | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の仕事の存在を発信する。</li> <li>専門、所属関係なく、地域の一員として関わる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>病棟看護師が地域に出て生活や多職種を知る。</li> <li>病院の連携窓口を統一する。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>カルテの共有。</li> </ul> |
| 介護職         |  |   |   |
| 行政<br>(その他) |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職団体間の連携。</li> <li>在宅医療を必要とする人がどこにどれだけいるか把握する。</li> <li>地域割りを実施。(市内で空白地をなくす)</li> </ul> |   |

各職能団体が会合を実施。それから市が職能団体間の交流ということでもっと大きなテーマであったり逆にとてもニッチ(隙間、小さな)なテーマについて話し合える場ができればいい。

# 6G

## 顔を見てカンファ！！

|                     | 明日から  | 半年後  | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|---|--|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士の職種について知ってもらう。</li> <li>・ケアカンファレンスの開催。</li> <li>・退院カンファレンスは患者に関わる職種は全員参加。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後のフィードバックがほしい。</li> <li>・多職種の介入する時間に合わせて、実際に一緒に関わる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有ツールでタイムリーに共有する。</li> </ul>                       |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議がチャンス。顔の見える関係を作る。</li> <li>・介護保険の知識をつける。</li> <li>・(要介護)病気になる前に健康に対する知識をもってもらう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員と連携をとる。</li> </ul>   |  |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にどんなサービスがあるか住民に分かってもらう。</li> <li>・もっと多くの人に地域ケア会議に参加してもらう。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙ベースの医療情報を作成する。</li> <li>・消防も多職種と連携する。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療情報マイナンバーカードの作成。</li> <li>・訪問エリアのマップを作る。</li> </ul> |

予防について提示！日本の医療は、診療がベース。予防をやって、元気になった、医療機関にかからないとか、元気でいる健康長寿システムを目指す。

## 7G

## ソーシャルメディアの構築

|             | 明日から   | 半年後  | 未来にできたら嬉しい  |
|-------------|--|--|---|
| 医療職         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種と意見を共有する場を作る。</li> <li>・勉強会の他に意見交換ができる場を作る。(せせらぎカフェを現在実施している)</li> <li>・適切な情報共有をする。</li> <li>・往診に同行する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加のイベントを実施する際に、広報の仕方を工夫する。(市と協力したい)</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種のチームをたくさん作る。</li> <li>・つくば市で統一したフェイスシートの作成。</li> </ul> |
| 介護職         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日の対応について、誰かが対応できるように調整する。</li> <li>・ミーティングをする場を作る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種チームでSNSを使って共有する。→実際に共有アプリを使っている機関もある。(メディカルケアステーション)</li> </ul> | <p>2025年まであとわずか。未来にできたら嬉しいことは明日にも始めよう！</p>  |
| 行政<br>(その他) | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報のフィードバックをしっかりと行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をデータ化する。(医療マイナンバーの作成)</li> </ul>                                 |   |

# 8 G

## 情報共有ネットワークの構築

|                     | 明日から   | 半年後   | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|--|---|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスに早い段階で参加する。・生活全体を見れるようなカンファレンスを行う。・院内、自宅で複数回カンファレンスを開催し、退院支援を進める。・各職種が顔を合わせるようにこころがける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師とケアマネが連携できる仕組み作りを実施する。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット(メール等)を活用して情報共有をする。・嚥下障害の方は定期的に嚥下内視鏡検査を実施し、肺炎を予防する。</li> </ul>  |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医と顔を合わせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の状態が変わったタイミングで多職種で集まるようにする。(ケアマネが集める)・休日等に連絡をとれる体制をつくる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供書の書式の統一。</li> </ul> <div data-bbox="1532 807 1989 970" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>つくば市統一の<br/>ものが必要！</p> </div> |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所の見学会を開催する(中身・システムが分かる)。</li> <li>・多職種から得た情報から早期の時点で予防的に関わる。</li> </ul>                               |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTで連携の整備。</li> </ul>  |

# 9G

## わたし達はもっと関わりたい！！

|                     | 明日から   | 半年後  | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|--|--|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医の顔の見える関わり。</li> <li>・退院時カンファレンスに参加。</li> <li>・声を掛け合う。</li> <li>・誤嚥性肺炎の予防について話す。(言語聴覚士)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟と在宅の関わりをもつ。(言語聴覚士)・地域ケアの検討会で医師と顔を合わせる。</li> <li>・薬剤師の仕事内容を知ってほしい。</li> </ul> |  |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の目標に合わせてまとめ役を決め支援する。</li> <li>・常に新しい情報を交換する。</li> </ul>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間対応する訪問看護と医師が連携する。</li> </ul> |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会、教室の参加者を増やす。→多職種開催</li> <li>・民生委員と連携をする。</li> <li>・栄養士が活躍できる在宅支援の場を広げる。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを利用した連携(地域内)・対象者を中心において関わる。(カンファレンスを本人宅で行う等)</li> </ul>                     |  |

各職種やりたいことは既に固まっているが、それぞれの職種で止まっていることが多い、勉強会とか講習会とか地域に向けてのイベントをやりたい思いがある。それをまとめる人が出てくると良い！

# 10G

|                     | 明日から   | 半年後  | 未来にできたら嬉しい  |
|---------------------|--|--|---|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お薬手帳の活用(内服だけでなく、既往歴等)・薬局も色々なカンファレンスに参加したい。</li> <li>・現場で多職種のカンファレンスを実施。・情報共有のツールを考える。(IT・アプリ)→すぐには無理なのでまずは紙媒体で実施。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院前後の複数回カンファレンスを実施する。・退院後の生活のフィードバック。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と病院で情報共有をする。</li> </ul>           |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議への参加。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師と円滑に情報共有をする。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有方法について、紙からデジタルへ移行する。</li> </ul> |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来は医療版マイナンバーを目指して、まずは紙ベースを作成する。・つくつく見守り隊の活用・普及。</li> </ul>   | <p>情報共有したとき、アップデートをどうしていくか課題もある</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療版マイナンバー。</li> </ul>               |

# 11G

## 顔の見える関係の構築

|                     | 明日から   | 半年後  | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|--|--|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種と連携して、患者への対応を在宅でも統一する。</li> <li>・地域での交流会や研修会に誘いあう。</li> <li>・医師を交えた担当者会議を定期的で開催。</li> <li>・連携時の窓口の一本化。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任の所在、役割を明確化し、連携をスムーズに行う。</li> <li>・大きな病院の医師や看護師が患者のクラス地域のこと興味を持てるようにPRする。</li> <li>・症状の変化をすぐに相談できる関係づくり。</li> <li>・座談会や交流会を定期的に行き継続する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医と在宅での生活者との情報共有ツールの活用。(アプリ等)</li> <li>・患者の希望が叶う医療・介護サービスの提供。</li> <li>・地域住民も会議やサポートに参加。</li> </ul> |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師も交えた自宅での担当者会議。</li> <li>・入れ歯の不具合に気づき治療ができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変した場合(特に独居)の対応を明確にする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接聞きやすい、話しやすい関係になる。</li> </ul>   |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議への医師の参加を行政として、必要性について説明と協力の依頼を通知する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔の見える関係の構築。(勉強会等)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議の活用のためのICTの整備。</li> <li>・地域を含めた勉強会、講座の開催。</li> <li>・研修会、勉強会の情報の収集と広報を実施。</li> </ul>             |

研修会、勉強会 市内でダブらないようにカレンダー化する！

# 12G

## 情報共有について

|                     | 明日から  | 半年後   | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|---|---|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に積極的に参加する。</li> <li>・地域の情報を集める。</li> <li>・SNSアプリを利用する。</li> <li>・退院間際ではなく、早めに情報提供をする。</li> <li>・サービス担当者会議を病院の待合室に設定する。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議に出席。</li> <li>・病院の窓口の見える化。</li> <li>・連絡が取りやすい時間帯一覧を作成。</li> <li>・情報共有方法を多職種で作成。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IC系のツールを使用し、情報共有。</li> </ul>   |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会に参加。</li> <li>・多職種と顔の見える関係作り。</li> <li>・聞きたい情報は自分から電話する。</li> <li>・こまめに情報共有をする。</li> <li>・必要時、情報提供ができるように記録しておく。(画像を含む)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔の見える関係、信頼関係を築き、情報共有しやすい関係を作る。</li> <li>・意見交換会等に参加し、顔見知りを増やし、連絡を取りやすくする。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSアプリを利用し、リアルタイムで情報共有できるようになる。</li> <li>・主治医が担当者会議へ積極的に参加する。</li> </ul> |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア会議への呼びかけを常に行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会を実施する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを利用した情報共有を普及する。</li> </ul>  |

ICTツールを使って情報共有ができて  
タイムラグがなくなるといいかな



# 13G

## 情報の共有化をどう進めていくのか

|                     | 明日から  | 半年後   | 未来にできたら嬉しい  |
|---------------------|---|---|---|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医と連携する方法を統一する。</li> <li>・情報提供時、病院の窓口を統一する。</li> <li>・病院窓口の一覧票がほしい。</li> <li>・退院予定が分かったら連絡がほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネとの協力で介護保険を申請する方向けの講習会を実施。</li> </ul> <p>主治医との連携シート(書式)等があるといい。</p>                                  |   |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡体制の整備、緊急時の連絡先を確認、共有をする。</li> <li>・顔の見える関係をつくる。(サービス担当者会議に参加)</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活相談員同士の連携をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネの対応できる地域のマップができるといい。</li> </ul> |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有方法、情報提供方法を検討する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーション等でケアスタッフ向けの疾患啓発や薬剤情報の勉強会実施。</li> <li>・独居、家族の協力が難しい方への組織づくり。</li> <li>・病院の窓口の一覧の作成。</li> </ul> | <p>まずは同職種での連携とか情報共有や顔の見える化が必要。同職種の連携の集まる場がまだない。課題。</p>                      |

# 14G

## みんなが一つになるために 今、できること

|                     | 明日から  | 半年後  | 未来にできたら嬉しい   |
|---------------------|---|--|--|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院した時から早めの情報提供を実施。</li> <li>・退院カンファレンスに歯科の関係職種も呼んでほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士がどんな仕事か知ってほしい。</li> <li>・医師に地域のニーズをしてほしい。</li> <li>・求められていることを分かってほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ(メディカルケアステーション)で情報共有をする。</li> </ul>   |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスに呼んでほしい。</li> <li>・在宅スタッフに退院前カンファに参加してほしい。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネは訪問リハビリの期間も含めて目標を立ててほしい。</li> </ul>  |  |
| <b>行政<br/>(その他)</b> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議に積極的に参加する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、介護情報のデータ化。</li> </ul> <div data-bbox="1420 1126 2007 1362" style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #fff9c4; display: inline-block;"> <p>アプリでの情報共有。<br/>行政の力が必要</p> </div> |

# 15G

|                     | 明日から  | 半年後   | 未来にできたら嬉しい  |
|---------------------|---|---|---|
| <b>医療職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅に戻る際の情報をケアマネに早めに伝える。</li> <li>・介護、在宅など病院以外のシステムについて学ぶ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での看取りをスムーズに行う。</li> <li>・ACP(アドバンスケアプラン)をすすめる。</li> <li>・主治医を交えてサービス担当者会議を開催する。</li> <li>・退院サマリーは退院当日にわたす。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職から介護職への知識の共有。</li> <li>・関わりのある全ての人と情報共有をする。</li> </ul>                       |
| <b>介護職</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種と情報共有をこまめに実施。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議には関わりのある全ての職種が参加する。</li> <li>・オンライン等で会議を開く。</li> </ul>   | <p>オンライン会議等、情報連携を最大限活用できる取り組みをしていければよい。</p>   |
| <b>行政<br/>(その他)</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療サービスに繋がらない方の相談窓口を提示する。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、患者に関わる医療的な指示を統一する。(診断書料、基準料金)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院カンファの開催を義務付けにする。</li> <li>・地域ごとの社会資源の差をなくす。(人手)・ICTを活用し、災害対応に応用する。</li> </ul> |

16G

## 在宅と病院との情報共有がキモ

|             | 明日から                | 半年後                                | 未来にできたら嬉しい             |
|-------------|---------------------|------------------------------------|------------------------|
| 医療職         | ・顔の見える関係をつくる。       | ・外部との窓口を統一し、明確にする。                 |                        |
| 介護職         | ・ケアマネ連携タイムの共有、周知する。 | 入院前に家の様子を知る。<br>(レスパイト目的)          |                        |
| 行政<br>(その他) |                     | 他のグループは市で統一と出っていたが、県で統一した方が良いと話した。 | ・情報の共有ツールを一本化し、県で統一する。 |